

第 382 回静岡エフエム放送番組審議会議事録

1. 日 時 令和 4 年 6 月 14 日 (火) 11:00~13:00
2. 場 所 静岡エフエム放送本社会議室
3. 番組聴取合評 [番組名] E-JAN ~ゲンマチカコの大人の時間  
[放送日時] 令和 4 年 4 月 6 日(水) 5 月 18 日 (水) 21:00~21:30  
[出演者] 源馬ちか子
4. 出席者 [委員] 委員長代理 服部乃利子 副委員長 角田哲康  
委員 加藤裕治 委員 小野晃司  
[会社] 代表取締役社長 井熊正浩  
編成制作部専任部長 鈴木秀明

5. 事務局報告

- 株主総会の報告の件 ○ 最近の K-mix の営業状況の報告の件

6. 番組審議

- [対象番組] E-JAN ~ゲンマチカコの大人の時間  
[放送日時] 令和 4 年 4 月 6 日(水) 5 月 18 日 (水) 21:00~21:30  
[出演者] 源馬ちか子  
[番組内容] 50 代の聴取者が、かつて FM 静岡時代によく聴いた曲をあらためて聴いて、いま、何を感じるのか。また、楽曲にリアルタイムで接触していない若い聴取者にも、「こういういい曲があるのだ」ということを知らせていきたい。  
[聴取・合評での主な意見]

小野委員

聴いていて、非常に「ベテランの余裕」「安心して聴くことができる声の透明感」「番組の美しい仕上がり」を感じた。  
曲は懐かしく、選曲にもブレのなさを感じた。  
この番組の目的が、「懐かしいヒットナンバーを放送して、源馬さんの曲紹介を経て、同世代の共感を得る」「若者世代を断ち切る世界観」の独自路線で、源馬さんの選曲で、推し進めてゆくのか。  
感じ方は人それぞれだと思うが、当時のヒット曲の時代背景やデータが散りばめられても良いのではないかとも思った。しかしやはり、曲間のトークや、曲紹介の際の声の美しさには素晴らしさを感じた。

加藤委員

まずは、曲に懐かしさを感じた。また、同時に、曲に対しての新発見もあった。(アーティストの声の幼さ、曲のテンポの遅さ等)

番組に関するツイッターでも「お帰りなさい」といった、源馬さんに対する「同窓会的な旧来ファン」が見受けられた。そういう、「特定の聴取者向けの番組」としては、成立している。ただ、「番組の方向性はまだ、定まっていない」とも思われる。その世代は、選曲を、ほぼ、記憶しており、懐かしさを感じたり、同窓会の雰囲気を持っていることが利点としても、そこから、聴取者等を、どう増やすのか。今のところ、源馬さんからの一方的な発信なので、聴取者が源馬さんにどう向き合えば良いかが難しい。現在の中立の位置から、どういう切り口・視点を入れて行くのか。「選択聴取」と言われる時代の若者をどう取り込んで行くかが課題のひとつとも思われる。

角田副委員長

良い点として「声の若々しさ」（声に元気づけられる）

「（良い意味で）何も考えずに聴くことができる」（“ながら”にはもってこいの番組）

一方、「多くの曲が放送されるが、それよりも、源馬さんのトークを増やして、声で、聴取者を元気づけて欲しい。

ただし、年代が上の方が、思い出を話すと、すべての年代が、その話題を知っているという前提になってしまうことがあるので、注意した方がよい。そのために、「今回は、60代向けの話題」、「今回は40代向け」とコンセプトを設けた方が焦点がぼやけないのではないかな。また、曲等に対するエピソードを募集したりすると思いがけない世代が反応することもある。

服部委員長代理

30分で6曲程度の選曲は少し曲が多めの番組と思った。

年代別で、あるいは、世代的に少し、絞ってみても良いかもしれない。

源馬さんの声は、「きれいで落ち着いていて、曲の邪魔をしない。」

それ故に、「自分の思いを伝えるパート」があっても良いのではないかな。もう少し、聴取者の反応を受け取る番組であっても良いのではないかな。

4月からの新番組ということで、まだまだこれからという中で、今後の課題として、聴取者の反応も含めて注意深く見て行く必要はあると思われるが、このようなゆったりと、曲をじっくり聴くことができる番組を久しぶりに聴いた。今後の展開を見て行きたい。

会社サイド

先月、審議いただきました「牧村一穂のメラーCLUB」のご意見を  
受けまして、牧村本人も社員も一丸となって、さらなる成長を目指し  
ているところです。時期が参りましたら、再度、牧村の番組をお聴きい  
ただき、ご意見をいただきたいと思いますと考えております。

次回開催日 令和4年7月5日（火） 11:00～13:00を予定

以上

番組審議会委員長代理

服部乃利子

